

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 248

■ 中小企業のための脱炭素経営セミナー

昨年度に、浜松市、産業支援機関、金融機関により組織された「浜松地域脱炭素経営支援コンソーシアム」では、今年度、公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構に「はままつ脱炭素経営支援デスク」を設置し、中小企業のカーボンニュートラルに向けた取り組みを支援しています。

次世代自動車センター浜松では、ものづくり中小企業がカーボンニュートラル対応に取り組んでいただくよう、カーボンニュートラル対応支援を事業方針に掲げ、各種事業に取り組んでいますが、今回、公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構、浜松市、浜松商工会議所及び浜松地域脱炭素経営支援コンソーシアムの共催により、「中小企業のための脱炭素経営セミナー」を開催しました。当センター会員企業の日本精工株式会社様による講演や、当センターの望月センター長がモデレーターを務めたパネルディスカッションなどが行われました。

■日 時：令和6年7月11日（木）13時30分～17時

■場 所：グランドホテル浜松

■参加者：115社／147名

【日本精工様 講演】



【パネルディスカッション】



【参加者の声】

（講演）

- ・ N S K様のカーボンニュートラルについての取組が分かりやすかった。
- ・ 自社だけでなく、全体で意識していかななくてはならないので、まずは社内で展開し、一人一人が意識するべきだと思った。
- ・ N S K様の scope 3 の下流カテゴリ11 の計算、車体のごく一部の部品を製造されている N S K様は、どの様に計算できるのか気になった。

（パネルディスカッション）

- ・ カーボンニュートラルへ今後の方向性や対策、課題、CO₂ 排出の見える化の取組について理解できた。
- ・ パネルディスカッションで紹介された事例が分かりやすかった。
- ・ 省エネを進めるにあたって、経営（お金）と結びつけることが重要だと感じた。どうしても省エネだけですと従業員はなかなか動いてくれないため、経営と結びつけた教育をしていく必要があるように感じました。
- ・ パネルディスカッションの望月副会頭の「省エネは儲かる」という言葉が印象的だった。これからのものづくりは省エネありきだと思った。
- ・ 今まで活動してきた取組が多くあるため、この先更なる取組をする上で新しい手法がなかなか見つからない。
- ・ 澤根社長の話が非常に分かりやすかった。
- ・ C Nへの意識や危機感がまだ低い企業に対して、財務・収益面からアプローチすることも選択肢であると感じた。